

## 誘導ケーブル式果樹無人防除機のわい化リンゴ園における利用法

国とメーカーが共同開発した誘導ケーブル式果樹無人防除機は、有人 S.S と同等の散布能力があり、1人の作業でも散布が能率的に行うことができ、かつ軽労化、快適化が可能となる。

表1 薬剤付着状況

測定高さ	測定地点		
	1 m	2 m	3 m
3.5	0.74	0.60	0.31
3.0	0.67	0.41	0.40
2.5	0.43	0.39	0.33
2.0	0.67	0.81	0.83
1.5	1.52	1.65	1.34
1.0	1.67	1.60	1.51
0.5	1.46	1.29	0.91

注 1) 散布量は 400 ㍓/10a、散布速度は 2.7km/hr

2 薬剤有効付着量は 0.3 以上

誘導ケーブル式果樹無人防除機は無人走行システムの他は有人スピードスプレーヤーと同等の能力を持ち、同一条件下での使用においては薬剤付着程度等、有人 S.S と等々の防除効果が認められる。



薬剤の付着状態調査は「スピードスプレーヤー能力調査法」により実施した。

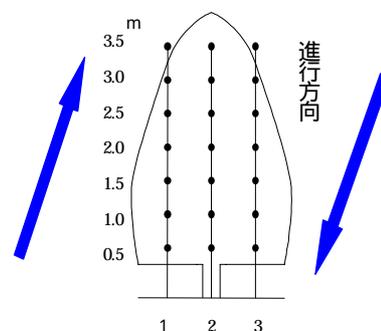


図1 薬剤付着測定地点

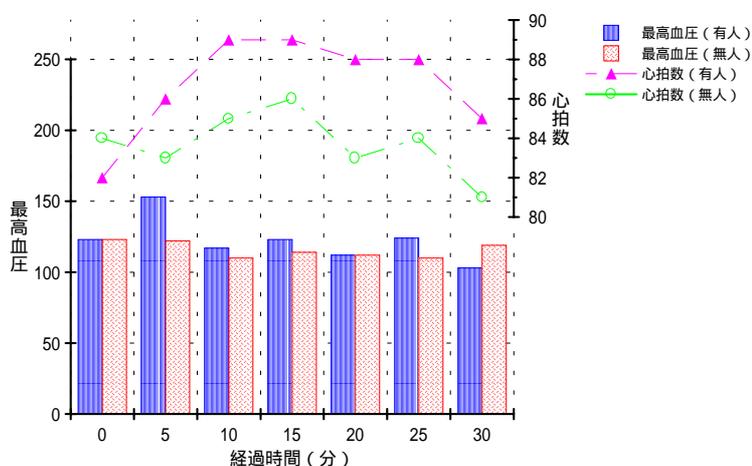


図2 作業者の労働負担 (心拍数及び血圧の変化)

無人走行により運転者への農薬被曝がなくなり、騒音からも開放され、危険の回避もできるなどが期待され、労働環境の改善となる。

また、無人作業時は心拍数や血圧の変動が少なく安定した経過を示しており作業の軽労化が示されている。